

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【公開番号】特開2014-66756(P2014-66756A)

【公開日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-019

【出願番号】特願2012-209980(P2012-209980)

【国際特許分類】

**G 03 G 5/14 (2006.01)**

【F I】

G 03 G 5/14 101 F

G 03 G 5/14 101 E

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月15日(2015.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

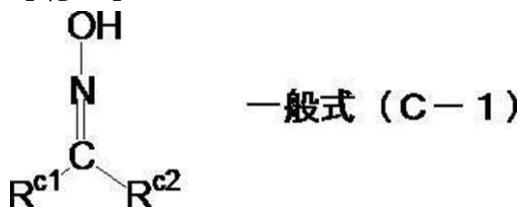
【請求項1】

支持体と、  
オキシム化合物から選ばれる少なくとも1種の化合物を含有する下引層と、  
感光層と、  
をこの順に有する電子写真感光体。

【請求項2】

前記オキシム化合物が、下記一般式(C-1)で表される化合物から選ばれる少なくとも1種である請求項1に記載の電子写真感光体。

【化1】



(上記一般式(C-1)中、R<sup>c1</sup>は水素原子、置換もしくは未置換のアルキル基、置換もしくは未置換のアルコキシ基、置換もしくは未置換のアリール基を表し、R<sup>c2</sup>は置換もしくは未置換のアルキル基、置換もしくは未置換のアルコキシ基、置換もしくは未置換のアリール基を表し、R<sup>c1</sup>とR<sup>c2</sup>とは環を形成してもよい。)

【請求項3】

前記下引層が更に金属酸化物粒子を含有する請求項1または請求項2に記載の電子写真感光体。

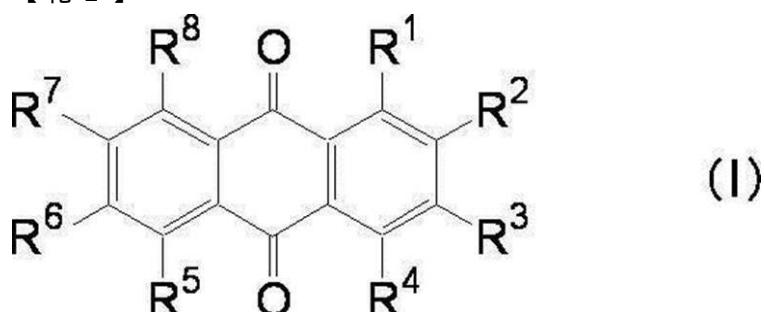
【請求項4】

前記下引層が更にアントラキノン骨格またはペリレン骨格を有するアクセプター性化合物を含有する請求項1～請求項3の何れか1項に記載の電子写真感光体。

【請求項5】

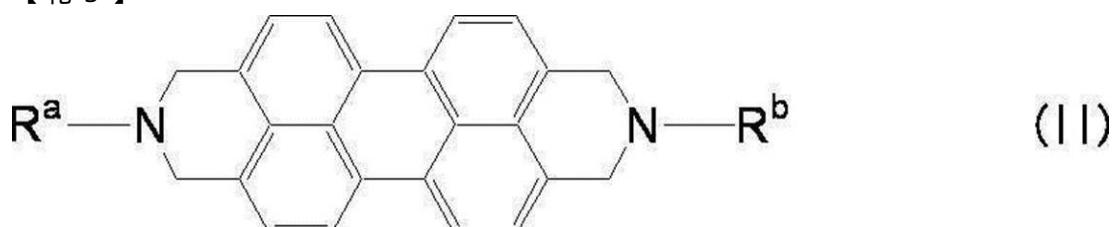
前記アクセプター性化合物が、下記一般式(Ⅰ)または一般式(Ⅱ)で表される化合物から選ばれる少なくとも1種の化合物である請求項4に記載の電子写真感光体。

## 【化2】



(一般式(Ⅰ)中、R<sup>1</sup>乃至R<sup>8</sup>はそれぞれ独立して水素原子、ハロゲン原子、水酸基、アミノ基、置換もしくは未置換のアルキル基、置換もしくは未置換のアルコキシ基、置換もしくは未置換のアリール基、またはカルボキシル基を示す。)

## 【化3】



(一般式(Ⅱ)中、R<sup>a</sup>およびR<sup>b</sup>はそれぞれ独立して水素原子、ハロゲン原子、水酸基、置換もしくは未置換のアルキル基、置換もしくは未置換のアルコキシ基、ニトロ基、シアノ基、アミノ基、またはカルボキシル基を示す。)

## 【請求項6】

支持体、オキシム化合物から選ばれる少なくとも1種の化合物を含有する下引層、および感光層をこの順に有する電子写真感光体と、

前記電子写真感光体を帯電する帯電装置と、

帯電した前記電子写真感光体の表面に静電潜像を形成する潜像形成装置と、

前記電子写真感光体の表面に形成された静電潜像をトナーにより現像してトナー像を形成する現像装置と、

前記電子写真感光体の表面に形成された前記トナー像を記録媒体に転写する転写装置と、

、  
を備えた画像形成装置。

## 【請求項7】

支持体、オキシム化合物から選ばれる少なくとも1種の化合物を含有する下引層、および感光層をこの順に有する電子写真感光体を少なくとも備え、

画像形成装置に着脱自在であるプロセスカートリッジ。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項5の発明は、

前記アクセプター性化合物が、下記一般式(Ⅰ)または一般式(Ⅱ)で表される化合物

から選ばれる少なくとも 1 種の化合物である請求項 4 に記載の電子写真感光体である。